

日本化粧品技術者会 東日本支部

「第290回 学術講演会」

【講演1】嗅覚受容体に基づくこれからの香り開発



花王株式会社 感覚科学研究所 特定テーマリーダー 吉川 敬一 氏

【講演要旨】

製品の香りは、調香師/フレーバリストの経験に基づく技により、多種類の香料分子を複雑に組み合わせでデザインされてきました。それら香りを、私たちは鼻腔内の約400種類の嗅覚受容体でセンシングすることで感じています。さまざまな香りと感覚との関係を嗅覚受容体に基づいて紐解くことで、より良い香りのデザインが可能になることが期待されています。具体的には、魅力的な香りをより少量の香料で実現すること、それを多様な生活者の一人ひとりに適切に届けること、悪臭に対してより良い消臭アプローチを提案すること、などが挙げられます。こうした新しい香りデザインを実現するために、私たちが取り組んでいる研究について最近の成果をご紹介します。

【講師プロフィール】

2011年東京大学大学院にて嗅覚受容体に関する研究により博士号を取得(博士論文特別奨励賞受賞および研究科長賞)。同博士研究員を経て、2013年より花王株式会社で勤務。嗅覚研究を継続し、研究により得られた知見を製品の香り開発に活用することに取り組む。

【講演2】角層の保湿メカニズムと最新知見



武庫川女子大学薬学部 特任教授 平尾 哲二 氏

【講演要旨】

角層は皮膚最外層に位置し、皮膚バリア機能や保湿機能を担うとともに、外観の決定要素でもありスキンケアの重要なターゲットです。表皮角化細胞の分化により形成される角層は、複雑な構成要素から成り立っており、常に生まれ変わる動的な組織です。しかしながら、外的な要因によりその機能はしばしば損なわれて、美しさも損なわれてしまいます。本講演では、健康な角層の成り立ちやトラブル発生や保湿のメカニズムについて概説するとともに、最新の知見についてご紹介します。

【講師プロフィール】

1979	東京大学薬学部卒
1984-2015	(株)資生堂リサーチセンター
1990-1997	アドバンストスキンリサーチ研究所出向
2015-2019	千葉科学大学薬学部教授 化粧品科学研究室
2019-2023	武庫川女子大学薬学部教授 化粧品科学研究室
2019-現在	千葉科学大学非常勤講師
2023-現在	武庫川女子大学薬学部特任教授
2003-現在	International Journal of Cosmetic Science 誌 Editorial board
2017-2022	日本化粧品学会理事・編集委員長
2021-現在	日本化粧品成分検定協会理事
研究分野:	皮膚科学、角層生化学、化粧品科学